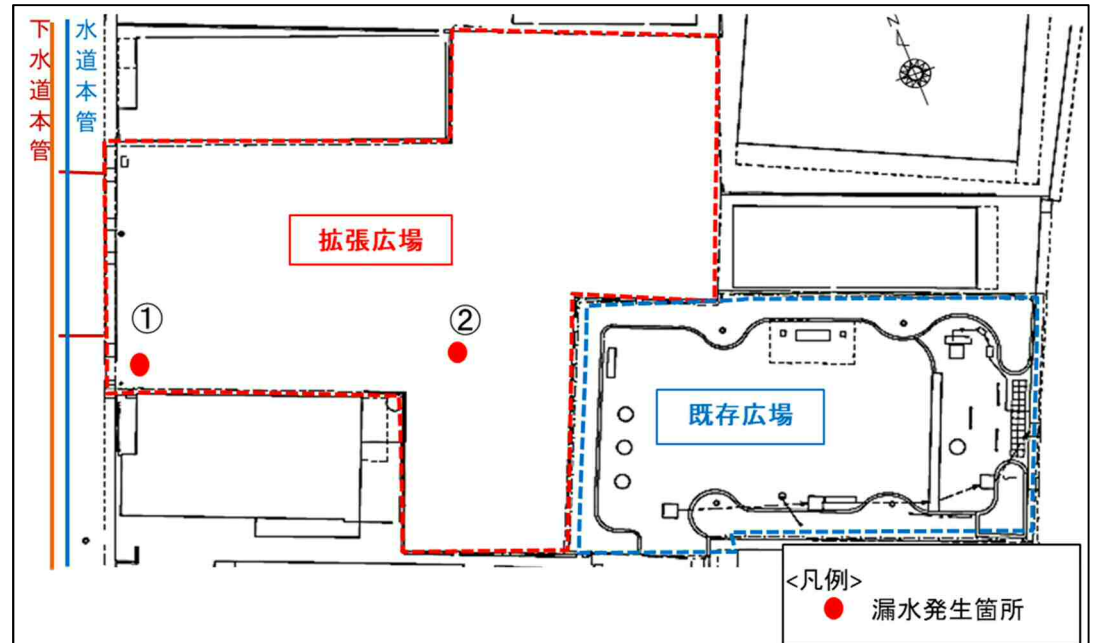
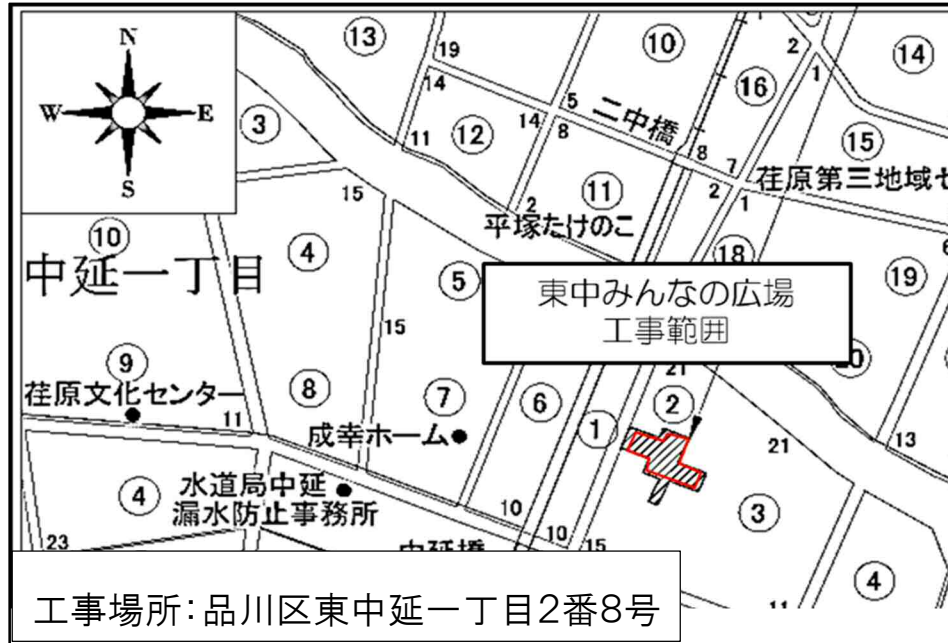


東中みんなの広場拡張整備工事に関する報告資料

東中みんなの広場拡張整備工事については、令和元年11月から工事を開始しましたが、貯水槽設置にかかる掘削工事をしたところ、敷地内から埋設管が見つかりました。その後、埋設管調査や関係機関協議に時間を要しましたが、皆様へ工事の状況報告および開園の時期についてご説明できる状況となりましたので、ご報告をさせていただきます。皆様に公園の開設時期が当初の3月下旬から6月下旬になること、工事休止による費用が発生することをお詫びいたします。

東中みんなの広場拡張整備工事のご報告(1)水道管破損について、(2)工事休止についてご説明をいたします。

(1) 11/18 発生 of 公園敷地内の水道管破損について



①. 主な経緯

- 11/7 ・敷地内から水道管が見つかったため、施工者から区に問合せがあった。
- 11/8 ・現地を確認し、区工事担当者から施工者へ撤去を指示した。
- 11/18 ・撤去の際に水道管を破損し、漏水が起きた。水道局へ連絡し、止水栓3本を取り付けた。

②. 原因

- 埋設管の調査不足があった。
通路の道路きわで深さ50cmまで掘ったが、水道管は見つからず、撤去されていると判断した。
- 内部で引継ぎ漏れがあった。
用地購入段階から設計段階までの引継ぎ漏れがあり、思い違いとなってしまった。

③. 対策および再発防止

原因1. 埋設管の調査不足について

事前調査を徹底します。より安全側にたつて、工事発注者から現場の作業員まで、皆が把握したうえで、慎重に工事を行います。

原因2. 内部での引継ぎ漏れについて

疑問をそのままにせず、関係者同士が積極的に連絡をとり、共有します。

④. 水道管破損補修費の概算費用

水道管破損補修費の概算は数十万円です。費用の支出は施工者と協議中です。

(2) 工事休止について

水道本管から不要水道管を撤去する工事(道路工事)が完了するまで公園工事は休止することといたしました。

①. 経緯

・工事の進め方について

当初

令和元年度に公園本体の工事および水道本管から不要水道管を撤去する工事(道路工事)を別々に行うことを考えていました。公園整備計画の整理に時間を要するため、道路工事を先に行うことを検討しましたが、見積もりがそろいませんでした。

水道管破損後

区として公園一体工事の中で、先行して道路工事を行うことに変更しました。近隣の方のご意見をお聞きし、皆様にご説明してから工事すべきだと区で判断しました。

・道路工事の契約方法について

当初の考えは、入札による契約を考えていました。

11/18の水道管破損後、令和元年度内に道路工事をするため、再度契約方法を検討しました。

評価項目	入札	契約変更	区から水道局へ依頼
迅速性	△	○	△
	事業者選定の入札手続きに時間を要する。	入札手続きをしないことから、早期に事業者選定が期待できる。	水道局の工事見積りを精査し、申し込みになる。
費用面	○	△	△
	価格競争のため、より安く提示した事業者と契約できる。	入札ではないため、見積もり費用の精査が必要になる。	水道局事務費が余分にかかる。民間へ依頼するよりも費用は高くなる。
安全管理関係者調整	○	◎	△
	公園工事側と調整することで、安全に工事を行うことができる。	下請けに入ることで、公園工事全体の統制が取れる。	調整先が他の方法よりも多くなる可能性がある。
総合評価	○	○※	△

※水道、下水道工事事業者の見積もり精査を行い、区として妥当な金額であると判断しています。

契約方法の検討の結果、安全管理に重きを置く判断をしましたので、公園工事の契約変更の中で道路工事を実施することとしました。

・道路工事の事業者選定について

道路工事は、区と施工者で協議し、公園工事の契約変更の中で実施することとしました。

施工者が水道工事事業者に連絡を取り、見積もり精査をし、事業者を決めました。

②.追加概算費用

工事休止による概算費用は下記のとおりです。

- ・仮設資材および重機のレンタル料 概算費用:数百万円
- ・施工者へ補償費用 費用の支出は施工者と協議中です。

追加の概算費用は下記のとおりです。

- ・水道管、下水道管、公共汚水柵の撤去および道路舗装工事 概算費用:数百万円
 - ・貯水槽位置変更に伴う土留め材の追加 概算費用:数十万円
- 追加費用の支払いは、今回の工事費用として、公園工事の今年度予算から支出をします。

③.今後について

安全第一で工事を進めてまいります。皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。